

算数科 学習指導案

日時 令和3年11月4日

学級 3年3組

授業者

1 単元名

「分数」

2 単元の目標

分数の構成や大小、小数と分数の関係を理解するとともに、単位分数に着目して簡単な分数の加減の計算の仕方を考え、計算することができる。

3 児童・生徒の実態

○課題解決に向けて、問題を解くために必要な数字を見つけたり、演算決定をしたりして、考えを書くことができる。

○交流では、仲間と共に深め合ったり、図や表を利用して進んで説明し合ったりすることができる。

●既習事項と関連させて考えることや、自分の考えを仲間に説明することが難しい児童がいる。

4 郡研究テーマとの関わり

① 「3つの見届け」について

・小数の計算では「0.1のいくつ分」をもとに考えていたことを振り返って実態の見届けを行う。

・ペア交流では、キーワードである「1/5のいくつ分」をもとに考えているか確認することで、学習状況の見届けを行う。

・練習問題の前に、問題の場面を言葉で表しながら確認し、定着状況の見届けを行う。

② 対話的な学びについて

・穴あきの提示用カード

□は□の□こ分

を黒板に貼り、もとにする分数のいくつ分かを考えやすくすることで、式を言葉で表しながら話すことができるようにする。

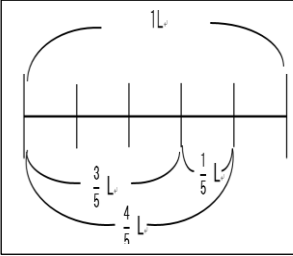
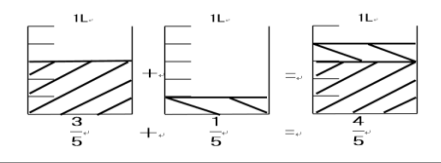
③ 主体的な学びについて

・問題を解くために活用したい資料を自分で選び、それを使いながら考えたり、説明したりする。

5 本時の目標

同分母の真分数どうしの加法について、計算の意味や原理、方法を理解し、計算することができる。

6 本時の展開 (6/8)

学習過程	学習活動	留意点
つかむ	<p>1 問題 (①) の数字部分を隠して提示し、小数の場合はどのように解いていたか確認する。</p> <p>2 問題提示 (①)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ジュースが $\frac{3}{5}$L 入っているパックと $\frac{1}{5}$L 入っているパックがあります。1つのびんに入れると、何Lになりますか。</p> </div> <p>○問題から分かっていることを読み取り、立式する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数の場合はどのように計算するといいいかな。 <p>3 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題：分数のたし算の計算のしかたを考えよう。</p> </div>	<p>【実態の見届け】</p> <p>小数の計算では、「0.1のいくつ分」をもとに考えていたことを振り返り、解くことができるか見届ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を解くために必要な情報を読み取り、立式できるようにする。 ・分数の計算でも、「〇〇のいくつ分」をもとに考えれば問題を解くことができそうなことに気付かせる。
考える	<p>4 問題を解くために使えるような資料をフォルダから選び、書き込む。</p> <p>5 個人追究</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">  <p>まず、$\frac{3}{5}$は$\frac{1}{5}$の3つ分</p> <p>次に、$\frac{1}{5}$は$\frac{1}{5}$の1つ分</p> <p>足すと、$\frac{1}{5}$の4つ分で$\frac{4}{5}$。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習で使用した資料(Lマスや数直線、言葉でまとめることなど)の中から本時でも使用できそうなものを選び、既習事項と関連させて考えることができるようにする。 ・フォルダから使いたい資料を選び、タブレット(xSync 使用)で説明などを書きながらまとめる。 ・1つの考え方ができた児童は、他の考え方もできないか声をかける。
深める	<p>6 全体交流</p> <p>○「数直線・Lマス・言葉でまとめる」3つの考え方を電子黒板に映す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>② 3つの考え方の同じところはどこでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どれも「1/5のいくつ分」で考えているよ。 ・小数のときと似ているね。これなら整数のたし算のときのように計算できるね。 <p>7 ペア交流</p> <p>「1/5のいくつ分」をもとにした考え方を説明できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・②「深めの発問」で、どの考えも、もとにする分数のいくつ分で考えていることに気付かせ、分数の計算の仕方を捉えさせる。 <p>【学習状況の見届け】 ペア交流</p> <p>深めの交流で「1/5のいくつ分」で考えていることを押さえ、「まず、3/5は1/5の1つ分…」のように、分数の計算を順序立てて説明できるようにする。黒板に穴あきの提示用カードを貼り、見ながら話すことができるように支援する。聞いている児童は、相手が話しているか反応をしながら確認する。</p>
まとめる	<p>8 まとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>分数のたし算は、もとにする分数のいくつ分かを考えると計算できる。</p> </div> <p>9 練習問題に取り組む。(鉛筆問題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①「$\frac{1}{4} + \frac{2}{4}$」を、穴あきのプラカードに当てはめながら声に出して確認する。(1/4は1/4の1こ分…) ・②～④を各自解き進める。 	<p>【定着の見届け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習問題に取り組む前に、キーワードである「〇/〇のいくつ分」を使いながら、全員で声に出して確認する。 ・戸惑っている児童には、穴埋め式のヒントカードを用意する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>《評価規準》</p> <p>分数の計算をするときに、もとにする分数のいくつ分かを考え、解くことができる。</p> </div>